



# もりた洋一の一般質問



## 1. 健康施策について

①PSA（前立腺特異抗原）検査を、特定検診で実施すべきではないか。

【答弁】費用面を含めて医師会と細部にわたり協議を進めていく。

## 2. ペット問題について

①ドッグランの最新事情をどのように調査・研究しているか。

【答弁】先進地の視察を実施し、その結果広大な敷地とボランティア団体の協力が必要なのが見える。民間にお願いして行きたい。

## 3. 事業の統合について

①民間のPPMやSBU（事業の重点領域を決める手法）を導入すべきではないか。

【答弁】事業の優先度や行政評価の一環として取り入れ、一定の成果が出ている。

## 4. マスメディア対応について

①危機管理対応の中で、情報発信の一元化やマニュアルにマスメディア対応を入れるなど、進捗状況はどうなっているか。

【答弁】新型インフルエンザ対策で、広報担当者として報道官を置き、対応したところである。

②危機管理とプロモーションをふまえた対応が重要ではないか。

【答弁】情報の一本化の重要性を認識し、報道官と担当課長とで情報の一元管理を図る。

## 5. 生涯学習施策のあり方について

①従来の補助金や各種活動への助言に加えて、イベント開催など市と市民

活動団体の協働による取り組みが重要ではないか。

【答弁】ジャズや寄席、ホテルの学校をはじめ、充実に取り組むとともに市民や各種団体と共に生涯学習活動や市民活動を活発化していきたい。

## 6. 農業政策について

①体験農園などのグリーンツーリズムをどう考えているか。

【答弁】農業まつりなどの開催、農産物直売所設置検討、市民農園や体験農園の設置支援を実施している。利根運河自然体験ウォークや南流山駅からのハイキングにも取り組んでいる。日帰り中心に充実を図りたい。

②農産物ネット販売や空き店舗利用の野菜栽培等アグリビジネスの方向性はどうか。

【答弁】課題があるものの、今後も研究を継続する。

③農産物のブランド化をどう考えるか。

【答弁】ブルーベリー試験栽培事業を市内農業者の協力により実施し、アイスクリームの加工にも取り組み好評である。

④流山版CSA（農家と消費者が農産物を一定価格で買い取る契約を結び頻繁な情報提供により信頼関係を構築すること）を検討すべきでは？。

【答弁】地産地消の観点から研究する。双方をまとめる幹事的役割が重要。一部市内で実施の事例も見られる。学校給食では早期実現が困難。

⑤就農支援や補助金制度をどう考えるか。

【答弁】千葉県制度を中心に利用者が使いやすいよう支援を促進する。

⑥農業マーケティングの見通しはどうか。

【答弁】若い女性層に人気が高いファッションモデルが農業体験するなど、関心が高まっている。農産物のPRと合わせ、流山農業のイメージ向上を図る。